

< Vol.29 の記事 >

いよいよ 広場 フルオープン！ これは大変だ～^^ 浦スポが実現したいスポーツ環境

【広場 フルオープン！】

5月12日、午前中まで小雨がパラつき、さんざん気をもみましたが、午後には気温も雨もあがり、いよいよ3クール制がスタートしました。

15時～15時50分 幼稚園中・長、小1（特別枠）

16時～17時20分 小1～4年

17時半～18時半 小5～6、女子

で、総勢294名！

いやはやこれはにぎやかでした。

特に、広場初の幼稚園コースは、

「3号球が重くて持っていらね～い」とか、ふと数え

ると「あれ？一人多い?!」とか、コーチ陣の未体験ゾーンに突入！

幼稚園の保育さんが重労働であることを身にしみて

感じました。広場の終了後、コーチ陣は運営方針や、今後のプログラム、用具の追加リストの整理など夜11時近くまで喧々諤々……。今後のメニューに注目です！

【コース 春の大会 満身創痍で乗り切る】

4月中旬から5月中旬の一ヶ月間で、クラブユース選手権関東予選6試合、彩の国カップクラブユース予選2試合の計8戦を戦うことになっていたユースコースですが、途中、怪我・風邪・バイト・修学旅行などで欠席者が相次ぎ、JYの力を借りながらどうにか乗り切りました。

こんな中で一番頭を悩ませたのは、土曜日の学校！ほとんどの私立高校では、次々と土曜日が通常授業になっている中、クラブの活動では公休扱いにしてもらえずに、さばりを勤めるわけにもいかず、JYの力を借りなければ、人数不足（没収試合）扱いになりかねない状況もありましたが、どうにか乗り切ってきました。



しかし、苦しい中乗り切ってきたことも、良い経験として、今後の活動に活かされていくと思います。じょじょに、元気がつサッカーにまじめに取り組んでいる1年生が何人も入ってきており、今後が楽しみになってきました。

【浦スポが実現したいスポーツ環境】

浦スポでは、地域のこどもたちが楽しく遊べ、トップアスリートも胸をはって活動できるような環境づくりに、大人が自分達も楽しみ続けながら貢献していく、そんな地域をつくっていきたくて考えています。実際の活動は、まだまだ理想にはほど遠いですが、少しずつでも進めていきたいと思っています。

これまでのスポーツ環境（図-1）

< 構造の背景：競技力偏重主義 >

- ・ピラミッドは、少数のボランティアが犠牲的に支えている底辺と、企業に支えられた頂点がひっぱり上げることで保たれていた。
 - ・企業の広告塔として、選手は次々と選別されていた。
 - ・教育手段や学校ブランド力として利用されてきた。
- < スポーツの現場では次のことが起きています >
- ・年齢があがるにしたがって、技術で選別され、振り落とされた者は活動の場を失う。
 - ・高度経済成長期が終焉し、企業が支えられなくなった（企業部活動の廃部）。
 - ・技術の高度化、活動の拡大、教員の新規採用の減少などから、指導のできる教師が減っている。
 - ・学校部活動では、楽しみたい子どもは除外されがちになり、スポーツを楽しみたい子どもの活動場所がなくなっている。
 - ・少数のボランティアスタッフに負担が集中し、そういった人々が疲れてきている。
 - ・立派な運動施設が全国に整備されてきたが、財政負担が問題視されている。
 - ・一部の競技性の高い団体などが施設を優先的に利用し、一般の人が利用できる施設が少ない。

< このような社会的な問題点を招いています >

- ・成人のスポーツ実施率は低い一方で、医療保険料が増加し、財政を圧迫している

- ・遊び場、エネルギーの発散の場を失った若年層の非行化（犯罪の若年化）が進んだ。
- ・子どもの遊び場の減少は、多世代間の交流の喪失もまねいている

浦スポが目指すスポーツ環境（図 - 2）

- ・企業に替わるスポーツ社会の受け皿をつくる。
 - ・自分たちがスポーツに親しみ続けることができる環境があることで、トップアスリートの活動、子ども達の活動にも理解が生まれ、支えることができる（「自分たちに楽しみがないのに、お金や労力をそんなことのために使うのはいやだ」「自分たちの楽しみでもあるので、お金や労力を費やしてもいい」）。
- <実現のために必要なこと>
- ・個人の犠牲の上に成り立っていた部分に、受益者

負担の仕組みをある程度持たせることで、持続性と質を担保し続ける仕組みをつくる。

- ・全体としてかかる費用は、できるだけ地域の大人が負担する仕組みをつくる
- ・負担を求める大人にも楽しさを提供する。
- ・そのためには、子どもから大人までが、広くスポーツに親しみ続けられる施設とソフトの整備（公共施設の効率的利用と、NPOなどの活躍）が必要。

<期待できる効果>

- ・学校単位や企業単位ではない地域での連携が縦横に広がる。
- ・子どもから高齢者までの健康増進。
- ・多様な交流（ふれあい）の増加による、元気で明るい地域社会の形成。

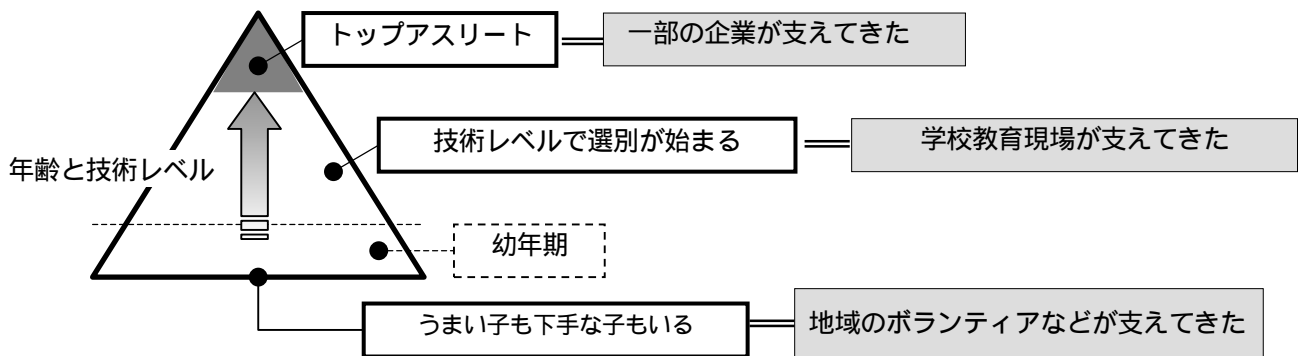


図 - 1 これまでのスポーツ社会の構造

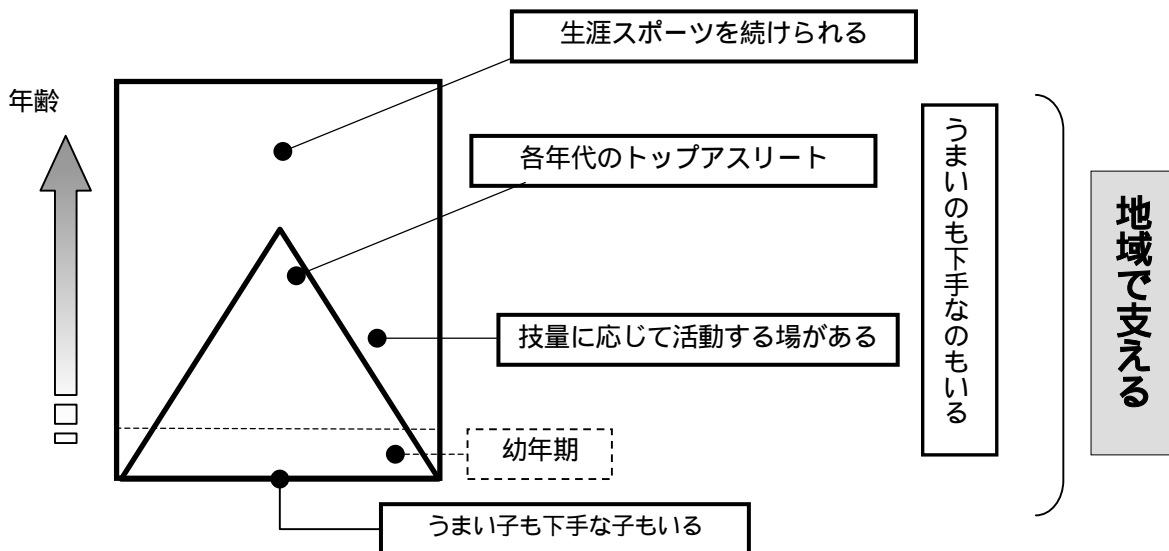


図 - 2 浦スポが目指すスポーツ社会の構造

浦和SCニュースは、クラブ内の情報交換を図ることを目指して発行しています。
今年度より、サッカー広場でも配ることにしました！
HPでは、ニュースをカラー配信しています。